

-
- 【1】 高校生理学研究発表会を開催しました。
 - 【2】 APPW2025 (第 130 回日本解剖学会・第 102 回日本生理学会・第 98 回日本薬理学会 合同大会) における「高校生発表」の案内について
 - 【3】 令和 6 年度 千葉県児童生徒・教職員科学作品展 入賞者について
 - 【4】 第 12 回科学の甲子園ジュニア千葉県大会結果について
 - 【5】 夏の電腦甲子園「SuperCon2024」本選大会について
-

【1】 高校生理学研究発表会を開催しました。

9月28日(土)に、文部科学省・千葉県教育委員会をはじめ多くの団体の共催・後援・協賛を得て「第18回高校生理学研究発表会」を開催しました。全国の高校生が集い、日頃の研究成果を発表するこのイベントは、優れた発表を表彰して奨励すると共に、個々の研究内容に審査委員の先生方からコメントが届き、参加生徒たちが有益なアドバイスを受けられることが特色です。今年度も昨年度と同様に、対面によるポスターセッション形式に加え、オンラインシステム上にポスターを掲示することで、事前に審査委員から指導助言を受けられることができるハイブリッド方式で実施しました。物理や化学、生物、地学、数学・情報などの8分野で研究発表を募集したところ、前回(第17回)の申込数を大幅に超え、全国の64校から384件の応募がありました。発表会当日に参加した高校生は759名であり、その他に審査委員、高校教員、大学教員、後援・協賛団体の見学者等を合わせ、参加者は合計1,600名を超えました。発表会では、参加者による活発な質疑応答が行われ、科学研究や教育の第一線で活躍する審査委員の先生方からすべての研究発表に対し、研究の素晴らしい点や改善を要する点へのコメントがありました。また、当日は横手学長が研究発表を見学し、発表中には熱心に質問を行い、高校生に励ましの言葉が贈られました。また、発表会終了後には審査委員全員による審査が行われ、「最優秀賞」、「千葉大学長賞」等の特別賞など65件の優秀な研究発表に対して賞が贈られました。

要旨集：<https://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/history/2024/18yousisyuu.pdf>

表彰者：<https://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/history/2024/18jushou.pdf>

【2】 APPW2025 (第 130 回日本解剖学会・第 102 回日本生理学会・第 98 回日本薬理学会 合同大会) における「高校生発表」の案内について

APPW2025の「高校生発表」セッションが、「解剖学、生理学、薬理学に限らず、ライフサイエンスや自然科学の研究全般に関する研究内容の発表を通して、未来の科学技術研究を担う高校生(中高一貫校の中学生を含む)と研究者の交流を図る」ことを目的に以下の要領で実施されます。

- (1) 募集期間：2024年12月2日(月)～2025年1月15日(水) 17:00
- (2) 参加費：無料
- (3) ポスター発表

日時：2025年3月18日（火）10:30～12:30

会場：幕張メッセ 展示ホール 8

ポスターサイズ：高さ 180cm×幅 90cm

発表内容：解剖学、生理学、薬理学に限らず、ライフサイエンス全般・自然科学研究全般に関する研究発表を歓迎。

※スペースの制限上、申し込み多数の場合は申込期限よりも早く受付を締め切る場合があります。

(4) 表彰式

日時：2025年3月18日（火）15:40-16:40

場所：幕張メッセ 国際会議室（予定）

発表・参加等の申込、詳細は以下の URL をご覧ください。

<https://www.aeplan.jp/appw2025/highschool/>

【3】令和6年度 千葉県児童生徒・教職員科学作品展 入賞者について

令和6年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展の入賞者が発表されました。

高校の科学論文の部では、千葉市立千葉高等学校の生徒による研究が千葉県知事賞を受賞し、他に千葉県立柏高等学校の生徒による3つの研究、千葉県立船橋高等学校の生徒による研究、芝浦工業大学柏中学高等学校の生徒による研究がそれぞれ特別賞を受賞し、この6件の研究が日本学生科学賞の中央審査（全国大会）に進みます。受賞者等は以下の URL をご覧ください。

<https://www.ice.or.jp/nc/wysiwyg/file/download/45/11669>

【4】第12回科学の甲子園ジュニア千葉県大会結果について

「第12回科学の甲子園ジュニア千葉県大会」が、8月24日（土）に千葉工業大学を会場に行われ、19校33チームが筆記競技、実技競技に協働して挑戦し、市川学園市川中学校 B チームが優勝しました。

【総合】

優勝 市川学園市川中学校 B〔全国大会出場〕

準優勝 渋谷教育学園幕張中学校 A

第3位 渋谷教育学園幕張中学校 B

第4位 市川学園市川中学校 A

第5位 千葉市立都賀中学校 A

第6位 麗澤中学校 B

【実技競技】 第1位 市川学園市川中学校 B

【筆記競技】 第1位 市川学園市川中学校 B

詳細は下記 URL をご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/press/2024/kagakuno/kousienjr2024.html>

優勝した市川学園市川中学校の生徒たちに対し、11月23日（土）に千葉大学理学部1号館を会場として強化トレーニングを実施しました。トレーニングは主に事前公開競技について行われ、トレーニング当日は市川学園市川中学校の10人の生徒が参加し、生徒たちは講師の千葉大学大学院工学研究大川祐輔先生、千葉大学高大連携支援室秋本行治先生の助言を受けながら、課題競技に適したものづくりにチャレンジしていました。

市川学園市川中学校 B チームは、12月13日（金）から15日（日）にかけて兵庫県姫路市で開催される「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」に千葉県代表として出場します。健闘を期待しています。

【5】夏の電脳甲子園「SuperCon2024」本選大会について

夏電脳甲子園「SuperCon2024」本選大会が8月19～23日に大阪大学のスーパーコンピュータ「SQUID」を使用し、オンラインで開催されました。本選大会では予選を勝ち抜いた20組のチームが課題問題を解くプログラムを作成し、プログラムの正確さや速度が評価されました。千葉県では千葉県立長生高校のチームが本選に出場し、見事3位に入賞しました。

| 順位 | チーム名 | 学校名 |
|----|----------|--------------|
| 1位 | Calamari | 筑波大学附属駒場高等学校 |
| 2位 | tcAtCa | 筑波大学附属高等学校 |
| 3位 | KohakuCH | 千葉県立長生高等学校 |

電脳甲子園「SuperCon2024」についての詳細、結果は以下のURL、リンクをご覧ください。

<https://www.r-ccs.riken.jp/outreach/events/20240819-0823/>

<https://www.gsic.titech.ac.jp/supercon/main/attwiki/index.php?SupercomputingContest2024/%E6%9C%AC%E9%81%B8%E7%B5%90%E6%9E%9C>

【編集後記】

体調を崩してお休みを頂いていたため、暫くぶりの高大連携ニュースの発行となります。健康の大事さを痛感しました。年末でお酒を飲む機会も増えますが、飲み過ぎにはくれぐれもご注意ください。(橋)